

2. 人びとのくらしと田や畑の仕事

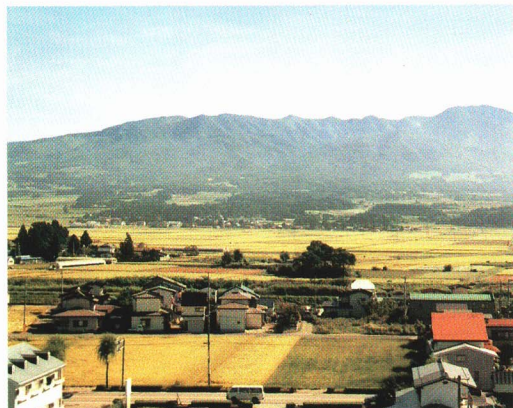
(1) 塩川町の農業のようす

塩川町の東部（駒形地区）の一部をのぞき、平らな土地が広がっています。町全体で農業に使っている土地は2,340^{ヘクタール} haで、土地全体の約半分です。そのうちの85%が水田で、残りが畑です。このことから、塩川町の農業は米作りが中心になっているといえます。

主な田畑は、町の中心地をのぞいて4つの地区にみられます。それぞれの土地の条件を利用して米・野菜・くだもの・花づくりや家ちくをかうことがおこなわれています。

農業で働いている人は、町全体の約7分の1ですが、このごろでは、毎年、少しずつへってきています。

町では、農業をさらに発展させようと、一人一人のもっている田畑を多くすること、機械を使いやすいように田を大きくすること、米を作っていない田でどんな作物を作ったらよいかを調べること、田畑の土をさらによくすることなどに力をいれ、農家の人たちが安心して農業に取り組めるようにしています。



田のようす



スイセン畑